

令和元年度 施設見学会の報告

- 1 日 時 : 令和元年9月4日(水) 午前9時30分～午後4時
- 2 参加人数 : 38名
- 3 見学先 : 独立行政法人造幣局・音羽電機工業株式会社 雷テクノロジーセンター
- 4 見学行程 : JR大阪城公園駅(集合) ⇒ 造幣局 ⇒ 昼食 ⇒ 雷テクノロジーセンター ⇒ JR大阪駅付近(解散) ⇒ 懇親会
- 5 見学内容

計量管理部会と計量士部会が企画・運営した当協会主催の施設見学会を開催しました。

造幣局では、業務概要や硬貨ができる流れについて説明を受けた後、精密な硬貨の製造ラインを見学しました。造幣博物館では、大判小判や記念硬貨などの展示に加え、出荷時に袋詰めされた500円硬貨、2,000枚(14kg)や千両箱(約20kg)を持ち上げてみる体験ができ、また、時価8,330万円の金塊に触ることもできました。

昼食後、雷テクノロジーセンターでは、雷の発生の仕組みや雷対策が学べる高電圧試験設備の放電実験があり、その迫力に一同びっくりしました。また、大電流試験設備や宅内サージ検証用模擬家屋の雷試験装置の説明を受け、あらためて雷対策が必要だと感じました。雷ミュージアムでは、離陸直後の飛行機に大きな雷が落ちる映像が流れましたが、飛行機には放電装置が取り付けられており、墜落することはないそうです。

各見学先では、スタッフの方々から丁寧な説明があり、参加者の方々も、ものづくりについて再発見があり、充実した一日となりました。

(藤田理事長の開催挨拶)



(造幣局)





(雷テクノロジーセンター)

